

募集

介護予防買い物リハビリ事業を始めました

●問い合わせ 町地域包括支援センター ☎ 096 (292) 0770

自分で買い物に行くことが困難な状態にある高齢者に買い物によるリハビリ教室を実施します。

自宅からイオン大津店まで送迎し、保健師、看護師、健康運動指導士などが一緒に買い物のお手伝いをします。あわせて、フードコートで介護予防体操を実施して、参加者で楽しく昼食を食べます。

●対象者 一人暮らしや高齢者のみの世帯など的高齢者で、自分で買い物に出かけることが難しい人。運動機能の維持向上のため、介護予防体操に意欲的に参加ができる人。

※町地域包括支援センターで申込み受付後、利用の可否を決定します。

●日時 毎週水曜日
午前10時～午後1時（3時間程度）

●場所 イオン大津店

●利用期間 最大で6ヶ月間

●利用料金 無料

ただし、買い物や昼食にかかる費用は自己負担です。

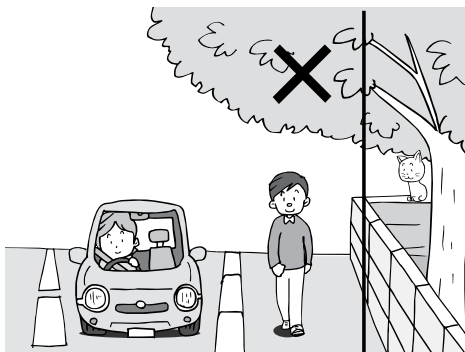
※申し込みから利用開始まで、2週間ほどかかります。

また、審査の結果、利用できない場合もあります。まずは相談ください。

環境

道路に張り出した木は切りましょう

●問い合わせ 役場建設課 管理係 ☎ 096 (293) 2815



×印部分は樹木が生えている土地の所有者の管理

木の枝や生垣が道路上に張り出したり覆いかぶさったりすると、通行しづらだけでなく、道路標識・カーブミラーなどを見づらくし、交通事故の原因にもなりかねません。

私有地から道路に張り出している枝や葉は、土地所有者に所有権があります。県や町では切ることができませんので、土地所有者にせんだ・刈込みをお願いしています。

交通事故を未然に防止し、安全に道路を利用できるように、定期的なせんだ・刈込みをお願いします。また、お近くでこのような箇所を見かけたら、ご近所同士でお声掛けをお願いします。

募集

大津町非常勤職員募集

●申し込み・問い合わせ 役場総務課 人事秘書係 ☎ 096 (293) 3111

職 種	勤務地	勤務日	勤務時間	資格など	社会保険	雇用保険	備 考
介護支援専門員	福祉課	月～金	8:30～17:15のうち5時間45分	介護支援専門員	有	有	任用期間1～3年 日額 6,350円
給食調理員	学校給食センター	月～金のうち週4日	8:30～16:45	調理師か実務経験2年以上	有	有	任用期間1～3年 月額 125,200円
給食調理補助員(A)	学校給食センター	月～金のうち週4日 (学校開校時のみ)	8:30～16:30		無	有	任用期間1～3年 日額 5,790円

- 申込期限 8月17日(月) ■申込時間 午前9時～午後5時(土、日、祝を除く)
- 申込方法 履歴書および各種資格証明書(写し)を役場総務課に提出してください
- 任用開始 9月以降を予定
- その他 ①申込者には面接を実施予定です
②募集職種や募集の詳細などは変更となる場合があります

輝く人権



【問い合わせ】 役場人権推進課 人権推進係
☎096(293)3122

蔵座育子さん
(大津北中学校教諭)

今回は、人権教育主任として、また学校人権教育研究会の事務局として活躍されている蔵座育子さんに人権教育との関わりなど、活動を通しての話を伺いました。

『私には、二人の息子がいますが、下の子は小学生から高校生まで、ずっと野球をしていました。私は一人です。子育てをしてきたので、小学生の頃に息子の相手をしていた。時々キャッチボールをしました。』

小学生とはいえ、野球好きの息子の方が断然キャッチボールは上手です。どんどん成長して、どんどん上達していく息子のボールは、だんだん強く鋭くなってきました。

どちらかと言うと運動の苦手な私では、とても相手にならない。でも、息子は私を取りやすい球を投げてくれていました。子どもっていつも優しいですね。

キャッチボールの「キャッチ」って、「つかむ」っていう意味もありますが、「受けとめる」っていう意味もあるのだそう。どんなに強がっていても、誰だって自分の思いを受けとめて欲しい。

自分の思いをしっかり聴いてくれて、しっかり受けとめてくれる場所って、誰にとっても居心地のよいもの。先日、校内人権集会がありました。その中で、「言いたいことをしっかりと聴いてくれるところ、自分を飾らなくて、素直になれるところにクラスがなったらいい。」という発表がありました。それを聴いていた子どもたちは、どんどん手を挙げて、「私も、自分を飾らなくてよくて、自分の思いを受けとめてくれるクラスが一番いいと思う。」という意見をだしていました。『ご自身のお子さんや中学生との触れ合いを通して感じたことを話していました。』

最後に「差別のない世の中だったら、自分に嘘をついたりしなくていい。差別のない世の中だったら、自分が自分らしく生きていく。子どもたちの様子を見ながら、お互いの思いを「キャッチ」し(受けとめ)て、部落差別をはじめ、あらゆる差別のない未来をこの子たちがつくっていくだろう」と話していました。



熊本県人権啓発キャラクター
コンコロ



人権を大切にする素晴らしい歌で表現する「人権バンド ゆう」の3人

■「第24回大津町人権・同和教育推進大会」、「第65回社会を明るくする運動」および「第9回子どもの未来を創る大会」7月11日に町文化ホールで、約400人の参加者のもと同大会が開催されました。

これまで別々に開催していた3つの大会の参加者に、それぞれの大会を理解してもらうことも含めて今回は、合同で開催されました。

第1部では小中学生の人権作文の発表や「人権バンド ゆう」がコンサートを行いました。



少年非行の現状をパネルで説明をする
法テラス熊本法律事務所 遠矢洋平 弁護士

◆南杉水人権フェスティバル
出店やステージイベントなど楽しい催しを開催します。

●日時 8月8日(土) 午後5時から

●場所 人権啓発福祉センター前児童公園

第2部は総理大臣のメッセージや保護司からの活動報告があり、最後に「少年の非行について」をテーマに遠矢弁護士が講演を行いました。「人権の大切さ」について考え、子どもたちの未来について考えるひとときとなりました。